

留 学 報 告 書

記入日:2018年1月12日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: California State University Long Beach
留学期間	2017年8月～2017年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	指定なし年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年1月17日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月下旬 2学期:1月下旬～五月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	32,100
創立年	1949

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	6,700	約 750,000 円	1単位分(35,000 円)追加
宿舍費	4500	約 500,000 円	朝、夜食込み
食費	約300	約 33,000 円	昼食代
図書費	約 200	約 20,000 円	
学用品費	0	0 円	
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	約 500	約 60,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	約 1000	約 110,000 円	形態:明治大学、現地指定の保険
渡航旅費	約 1400	約 150,000 円	
雑費	約2000	約 220,000 円	交通費、旅行費等
その他	約250	約27000 円	予防注射
その他	約 380	約 40,000 円	visa 申請料金
その他		円	
合計	約16, 500	約1, 910, 000 円	

渡航関連

渡航経路: アメリカン航空

渡航費用

チケットの種類	e-ticket
往路	7.5 万
復路	7.5 万
合計	15 万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

skyscanner

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

ホームステイ

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数)

3) 住居を探した方法:

ホームステイ斡旋会社 (HLB)

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮に比べて比較的安く、また基本的に一人部屋なのでとても満足しています。もし、現地の方と交流を持ちたいとお考えの方がいましたらお勧めです。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学生専用のオフィスがあり、なにかあったときにはそこに相談しに行っていました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険情報等はホストファミリーがすべて教えてくれました。この点でも、ホームステイは良かったと思います。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校に Wi-Fi はあります。カフェにも同じくありますが、基本的に近くにはないので、現地の携帯会社と契約したほうが便利だと思います。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

九割支払いはクレジットカードです。現金が必要な時は、日本で開設した、海外でも現金を下ろせる口座(新生銀行)を利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本人スーパーなどもあるので(遠いが)、基本すべて手に入ると思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

留学前に指定された口座に振り込みました。また追加した分の授業料は現地でカードで支払いました。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。 まだ具体的には決まっていますが、物流関係に興味を持っています。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 現地で多くの企業説明会(三井物産、ニトリ、等)に参加し、企業は留学を経験した人材を欲しがっていると感じました。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
American Language Advanced	発展英語
科目設置学部・研究科	ALI
履修期間	秋
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Courteny Stammler
授業内容	Academic Writingについて学ぶ(エッセイの構成の仕方など)。基本的に文法などはやらない。
試験・課題など	中間試験×2 期末試験×1、また小テストが多数。教科書、問題集などから毎回膨大な量の宿題がでる。
感想を自由記入	宿題が毎回山ほどでてとてもつらかったのと同時に、一番ためになった授業でもありました。膨大な量の英語を書かされるので、必ずライティングの技術は上達すると思います。また、わからないとがあったときは、チューターのシステム(個別指導)を利用して効率的に勉強を進めることが出来ました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intercultural Communcation		異文化コミュニケーション	
科目設置学部・研究科	COMM		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Yuping Mao		
授業内容	異文化を理解するための基本的な概念を学ぶ。		
試験・課題など	中間試験×2・ 期末試験×1 プレゼンテーション×2 ディスカッション×2 課題は基本なし		
感想を自由記入	異文化コミュニケーションということもあって、他の授業以上に様々な人種の人たちがいました。様々なバックグラウンドをもつ人から様々な価値観を授業を通して学べたのがよかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Surfing		サーフィン	
科目設置学部・研究科	KIN		
履修期間	秋学期		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実践1(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Jeff Ingram		
授業内容	サーフィンの歴史、マナー、方法を学び、後はひたすら練習。		
試験・課題など	中間試験(歴史について)、期末(マナーについて)、レポート、実技テスト		
感想を自由記入	授業が朝7時にビーチ集合であったので、授業がある日は五時起きでした。また、授業内であった友達に車に乗せてもらいビーチまで行っていました。運が良いときは野生のイルカ、アザラシを目の前にサーフィンすることが出来ます。このようにロングビーチならではの経験が出来き、とても楽しかったです。また、サーフィンもかなり上達しました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of Microeconomics		ミクロ経済学	
科目設置学部・研究科	ECON		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Louis Vayo II		
授業内容	ミクロ経済学の基礎		
試験・課題など	中間試験×2、期末試験×1、クイズ×5、ネット上での予復習の宿題(毎授業)		
感想を自由記入	一番アメリカ的な授業でした。授業内では、それぞれボタン(例; A,B,C)が用意され、先生の質問に生徒が答えた結果の集計がスライドに表示されます。そして、生徒の弱い点をもとに授業が展開されていきます。また、英語で学ぶ経済学は日本語のように堅苦しい用語がなく、日本語で学ぶより簡単に感じました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Skills&Method for Global Leadership		グローバルリーダーシップのための方法や技術	
科目設置学部・研究科	IST		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式+インターネット(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	Babs Grossman-Thompson		
授業内容	社会人にでて必要なスキルを学ぶ。(人を引き付ける話し方、履歴書の書き方、レポートの書き方等)		
試験・課題など	試験はなし。毎回授業内容にそった課題がでる。また毎週金曜日にネット上でのディスカッションがある。グループプロジェクトもあり。		
感想を自由記入	試験がない分、毎回の課題が多かったです。日本では絶対使わないようなこともたくさん学びましたが、それはそれで面白かったです。また、グループプロジェクトを通して友達が多くできたのもよかったですと思います。		

留学に関するタイムチャート

2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2016年 1月～3月	
4月～7月	入学、IELTS 受験
8月～9月	情報収集
10月～12月	出願、選考
2017年 1月～3月	出願書類作成などの手続き
4月～7月	VISA 申請、ホームステイ申し込み、奨学金申し込み
8月～9月	オリエンテーション、出国、秋学期開始
10月～12月	授業、中間テスト、期末テスト

留学体験記

留学しようと決めた理由	留学をしようと志した理由は三つあります。一つ目は、英語力の向上です。生きた英語をマスターするためには、その言葉が話されている国で暮らし、勉強することが一番の近道だと考えました。二つ目は、ビジネスを深く学ぶためです。ビジネスの先進国で学ぶことは必ず将来役に立つと思いました。三つめは、異文化理解を深めるためです。日本にはではできないような様々な経験をすることによって、自分の価値観を広げようと考えました。
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	留学先についてももう少し調べていくべきであったと感じます。特に履修する授業などは入念に下調べをしていくべきでした。例えば、パソコンで教授名と授業名を検索すると、その先生に対する評価や口コミ、時間などが出てきます。そのような情報をもとに履修を組めばよりよい留学生活がおくれると思います。また、授業ではパソコンを使う機会が多く、タイピングが遅いと困ることが多いです。遅いとの自覚がある人は練習しておくべきだと思います。
この留学先を選んだ理由	留学するならアメリカだと決めていました。なぜなら、アメリカのアクセントで英語を学びたかったからのと、ビジネスの先進国でビジネスを学びたかったからです。そして、国を決めたあとは、自分の英語のスコアで自然と候補が狭まりました。。その中でも、最終的ロングビーチ校を選んだ決め手は、今年が一期生であったことによる目新しさが目に留まったのと、他の候補大学と比べて比較的規模が大きい大学であったこと、そして、ビジネス学部が有名であったことです。
大学・学生の雰囲気	ロングビーチ校はとて規模が大きい大学で、本当に様々な人種の人たちが勉強をしています。メキシコから近いので、特にヒスパニック系が多かったです。また、日本人も多くいました。雰囲気としては、とても多様性にとんでいて賑やかです。また、年中気温は20度前後でほとんど雨がふらないという温暖な気候も相まってか、学生は優しく穏やかな人が多いと感じました。治安に関しては、大学周辺は安全であると思えます。
交友関係	積極性が大事と聞いていたので、初対面の人でも積極的に話しかけるよう努めました。その結果、授業や課外活動、友達の友達などの形で多く友達を作ることが出来ました。特に、現地で日本語を学んでいる学生さんと仲良くなるが多かったです。そして、それらの友達と勉強をしたり、ランチをたべたり、休日にはハロウィンパーティー、映画、ドライブをするなど楽しい時間を過ごすことが出来ました。また、英語が上達するにつれて友達も増えていったように感じます。
困ったこと, 大変だったこと	カリフォルニアは車社会です。また、交通機関は日本ほど発展してません。なので、車がないとほとんどどこにも行けません。車で30分で行くところバスだと二時間半かかります。とても不便でした。車をもっている友達を必ず作るべきです。金銭面に余裕があるならウーバー(タクシーのようなもの)の利用をお勧めします。また、12月に入ると昼は27度、夜は9度と、寒暖差がものすごく激しくなります。僕は風邪をひきました。この寒暖差には現地のひとも慣れてないらしく、大変な思いをしました。
学習内容・勉強について	僕一定の学部に所属することなく様々な学部の授業をとっていました。ほとんどの授業は一コマ75分前後でしたが、週二回あるので授業時間数的には日本の大学と変わらないと思います(もちろん授業によりますが)。学期の最初の方は先生が言うてることを聞き取ろうとすることで精一杯でしたが、次第に慣れれいきました。また、勉強はパソコンを使ったものが多くパソコンは必須です。きちんと勉強すれば、単位は取れると思います。
課題・試験について	毎回大量の課題が出ます。勉強づけの毎日でした。しかし、次第に容量をつかんでいったのと、英語力の向上により、時がたつにつれて自由時間にあてられる時間が増えていったように感じます。また、試験は大きく分けて三つ(中間試験1、中間試験2、期末試験)と、ほぼ毎月の頻度でテストがあります。なので、学期期間中は、宿題とテスト勉強でやるのが山ほどありました。また、単位を取るためには C(70%以上)が必須条件なのでこの点で、どちらにしてもかなり勉強することにはなると思えます。

大学外の活動について	ビジネスサークル(IBA,International Business Association)と日本人サークル(JSA, Japanese Student Association)に所属していました。IBA では多くの会社へ企業見学(HONDA など)へ行ったり、また社会人を講師として招いてお話を聞いたりなど、生のビジネスの声を学ぶことが出来ました。また、JSA に関しては、日本人だけでなく日本人が好きな外国人も多くいるので、友達を作る場として活用していました。
留学を志す人へ	留学は皆さんが想像している以上に大変なものであります。でもそれだからこそ得られるものは大きいです。アドバイスとしては、留学中は積極性を大事にして欲しいということです。日本でも同じだと思いますが、待っているだけでなにかが与えられるということは、特に海外ではありません。しかし、行動を起こせば、必ずなにかしら得ることが出来ます。友達もそうです。だから、自分の殻にとじこまらず、様々なことに果敢に挑戦して欲しいと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	起床	サーフィン	起床			
	授業	授業	授業	授業	起床	サーフィン	課題k
午後	課題z	授業	課題	授業k	課題	課題	課題
	授業	課題	授業	課題k	課題	課題	自由時間
夕刻	課題	課題	課題s	課題	課題	課題	課題
夜	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝s	就寝	就寝



